

平成 21 年度環境技術実証事業検討会ヒートアイランド対策技術分野
(オフィス、住宅等から発生する人工排熱低減技術)
地中熱・下水等を利用したヒートポンプ空調システム ワーキンググループ会合 (第 3 回)
議事要旨 (案)

平成 22 年 3 月 8 日 (月) 15:00~17:00

J Aビル 3 階 303 号室

— 議事次第 —

1. 開会

2. 議事

- (1) 今までの検討経緯について
- (2) 実証試験結果報告書の検討について
- (3) 実証試験要領の見直しについて
- (4) 今後のスケジュールについて
- (5) その他

3. 閉会

配付資料一覧

資料 1	今までの検討経緯について
資料 2-1	実証試験結果報告書 (案) (JFE 鋼管 (株)、JFE スチール (株)) (非公開)
資料 2-2	実証試験結果報告書 (案) (ゼネラルヒートポンプ工業 (株)) (非公開)
資料 2-3	実証試験結果報告書 (案) (ミサワ環境技術 (株)) (非公開)
資料 3-1	平成 22 年度実証試験要領改訂内容 (案)
資料 3-2	平成 22 年度実証試験要領 (改訂案)
資料 4	今後のスケジュール (予定)
参考資料 1	平成 21 年度実証試験要領 (第 1 版)
参考資料 2	熱源水温度について

議事

会議は公開で行われた

(1) 今までの検討経緯について

- ・事務局から、資料1に基づき、これまでの検討経緯について説明。

(2) 実証試験結果報告書の検討について

- ・事務局から、資料2-1、2-2、2-3に基づき、実証試験結果報告書案について説明。
- ・システム全体の実証試験において、COP実証結果が良い値を示しているが、稼働率だけではなく部分負荷率も影響しているものと考えられるため、可能ならば報告書に記載すべきとの意見があった。
- ・ヒートポンプの実証試験において、一部結果に関して、その結果の示す意味に関する説明を加えるべきとの意見があった。
- ・検討会での指摘点を修正することで、本年度の報告書として承認することが確認された。

(3) 実証試験要領の見直しについて

- ・事務局から、資料3-1、3-2に基づき、実証試験要領の見直しについて説明。
- ・概ね、提示内容で問題ないことが確認された。検討会での指摘点を修正することで、本年度の実証試験要領（改訂案）として承認することが確認された。
- ・冬期における測定が義務ではなくなるが、冬期の測定も行うことが望ましいと記載すべきとの意見があった。
- ・システム全体の実証では、実証時のシステムの状況をよりの確に把握するため、実証試験結果内に部分負荷率を併せて示すべきとの意見があった。
- ・ロゴマークの実証番号から、実証結果を検索できる仕組みを設ける等、ロゴマークと実証結果とのアクセシビリティを高めるべきとの意見があった。

(4) 今後のスケジュールについて

- ・事務局から、資料4に基づき今後の予定を説明。

(5) その他

- ・特になし。

(文責：環境省水・大気環境局環境管理技術室 速報のため事後修正の可能性あり)